

学修成果の設定, 授業設計, 課題設定に役立つ  
シラバス, 授業方法, 授業設計の改善に役立つ

### ティーチングポートフォリオを活用した授業の効果

「T4.学修成果の設定に役立った」( $\mu=4.67, \sigma=0.52$ )

「T5.授業設計に役立った」( $\mu=4.67, \sigma=0.52$ )

「T6.授業(本時)の課題設定に役立った」( $\mu=4.67, \sigma=0.82$ )

「T17.授業方法の改善に役立った」( $\mu=4.67, \sigma=0.52$ )

「T19.授業設計の改善に役立った」( $\mu=4.67, \sigma=0.52$ )

「T10.学生の意欲を高めるのに役立った」( $\mu=3.67, \sigma=0.82$ )

「T21.学生の復習に役立った」( $\mu=3.83, \sigma=0.75$ )

ティーチングポートフォリオを学修意欲に結び付けることや家庭学修での復習に繋げることが課題

研究報告4 実践事例報告①  
家政学部の実践から  
笠井恵里・高橋正司・森田実沙

スライド 57

【家政学部】

- ・ マネージメント演習 (健康栄養学科 3年生)
- ・ 教育制度 (教職科目 3年生)
- ・ 設計論・製図Ⅱ (住居学専攻 2年生)

スライド 58

スライド 59

# 健康栄養学科の事例報告

「マネージメント演習 (FM演習)」の内容と位置づけ

フードマネージメント実習 (FM実習) の準備

## 【栄養教育】

- ・ 栄養教育のための媒体 (リーフレット) の作成

## 【栄養計画、食事計画、衛生管理】

- ・ 100食以上、安心・安全に提供可能な食事 (5日間朝と昼) 献立の作成
- ・ 栄養バランスのとれた、喜ばれる給食経営を行うための準備 (各種帳票類)



総合的に活用する

スライド 60

# ティーチングポートフォリオメタデータ (サイボウズ版)

健康栄養学科の事例報告

表題名 (ふりがな)	マネージメント演習No.10-12
資料名 (ふりがな)	岐阜女子大学の給食管理・経営マニュアル, 第2~5回目配布資料
作成者	笠井恵里
内容分類	給食経営管理論
内容細目	給食の生産 (調理)
対象時代・年	2019/4/1
地域・場所	岐阜女子大学
索引語 (キーワード)	調理学, 給食経営, 給食管理, 大量調理, 献立立案, ノロウイルス
内容	1. ノロウイルス対策 2. リーフレットの訂正 (実習1, 3班) 3. 発注書および作業工程表・導線表の課題 (実習1, 3班) 4. グループの期間献立の作成および見直し (実習2班) 各日朝・昼のテーマを決定するとともに期間献立の作成 期間献立に沿った栄養価計算、原価計算 作業工程表、作業導線表の作成 グループの期間献立作成 (実習3班)
特色	・ ノロウイルス対策について理解できる。 ・ 発注書の作成ができる。(実習1班) ・ グループで朝食、昼食の期間献立が作成できる。(実習2, 3班) ・ 作業工程表・導線表の作成ができる。(実習3班)
活用支援 (利用注意)	・ 授業前までにwork112に保存されている資料 (第11回目) を確認しておく。 ・ ノロウイルス対策についてまとめておく。 ・ 前回までに立てた期間献立を確認しておく。(実習2, 3班)
振り返り	1班: 各自作業が進められていた。 2班: 期間献立の案ができたが、大量調理が可能か等の問題がある。 3班: 献立作成に時間がかかっている。 大量調理における献立作成のポイントを再度説明し、グループで作業している様子をイメージをさせる必要がある。

- ① 各単元の内容を具体的に記載 (全体、班ごと)
- ② 予習内容を記載 (全体、班ごと)
- ③ 事前準備しておく資料の記載



## 効果

- ① 各単元の内容が把握でき、予習内容が確認できる。
- ② 班ごとの内容を確認できる。
- ③ 事前準備しておく資料が確認できる。

これまでの学びの復習  
これからの学びの予習

# ティーチングポートフォリオ (Evernote版)

マネジメント運営2019/07/09 第12回  
 ①日時 2019年7月9日(火曜日) 1.2階目 実習2.3班  
 ②キーワード 2班・期間成立の見直し、3班・リーダー、副リーダー  
 期間成立作成開始  
 ③課題 2班・期間成立の学業面計算、3班・期間成立作成開始  
 ④授業の様子 2班・期間成立の中で、壁々に取付いた点に付箋を貼り  
 添で作業面直し。→作業面計算に時間がかかり、演習  
 行っている。3班・各日のリーダー、副リーダーが決定  
 期間成立は、全体ではなく、各自の担当授業等に集  
 約されている。これまでは、少人数である分、  
 1班に1日、1日1班で担当授業の日は、



1班：それぞれが、自分の担当の日  
 について案を立てた後、調整をする。



⑤振り返り ・2班は、成立が具体化され始めたこと、話し合いも進め  
 てきたこともあり(4回目)、食材や材料の量などを各自  
 で決めることができ始めている。  
 ・3班は、自分の考えた料理をあげ、期間成立にしている。  
 ・2班は、作業工程、予算の問題が残っている。次回、調整。  
 ・3班は、2日目で案ができた。時間がかかっているため、  
 各日でテーマに沿った成立案を確認させる。



3班：料理担当者毎(朝昼)に分か  
 れて、案を立てた後、担当者が担当  
 日の栄養価等を調整する。

- ① 学生の理解度のメモ
- ② 追加資料のメモ
- ③ 学生の様子の記録



## 効果

- ① サイボウズ版への予習項目追加
- ② 追加説明をすることで理解が深まる
- ③ 演習から実習に
- ④ 次年度の参考に

授業の見直し

# 健康栄養学科での実践から

## 実践した結果

- ・ 学生の様子の画像での記録ができる → 実習での支援
- ・ クラス毎、グループ毎の進捗状況が確認できる

## 今後の課題

- ・ 学生のティーチングポートフォリオメタデータ (サイボウズ版) の閲覧習慣化
- ・ ティーチングポートフォリオメタデータ (サイボウズ版) は1単元を分け、それぞれの内容・課題の明確化
- ・ ティーチングポートフォリオメタデータ (サイボウズ版) への提出物の記載
- ・ 記録・更新の効率化、習慣化

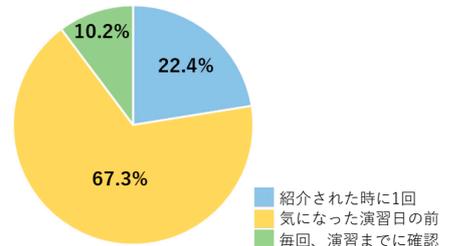


図. ティーチングポートフォリオでの授業内容の確認の有無

## ティーチングポートフォリオメタデータ (サイボウズ版)

表題名 (ふりがな)	マネージメント演習No.10-12
資料名 (ふりがな)	岐阜女子大学の給食管理・経営マニュアル, 第2~5回目配布資料
作成者	笠井恵里
内容分類	給食経営管理論
内容細目	給食の生産 (調理)
対象時代・年	2019/4/1
地域・場所	岐阜女子大学
索引語 (キーワード)	調理学, 給食経営, 給食管理, 大量調理, 献立立案, ノロウイルス
内容	1. ノロウイルス対策 2. リーフレットの訂正 (実習1, 3班) 3. 発注書および作業工程表・導線表の課題 (実習1, 3班) 4. グループの期間献立の作成および見直し (実習2班) 各日朝・昼のテーマを決定するとともに期間献立の作成 期間献立に沿った栄養価計算、原価計算 作業工程表、作業導線表の作成 グループの期間献立作成 (実習3班)
特色	・ノロウイルス対策について理解できる。 ・発注書の作成ができる。(実習1班) ・グループで朝食、昼食の期間献立が作成できる。(実習2, 3班) ・作業工程表・導線表の作成ができる。(実習3班)
活用支援 (利用注意)	・授業前までにwork112に保存されている資料 (第11回目)を確認しておく。 ・ノロウイルス対策についてまとめておく。 ・前回までに立てた期間献立を確認しておく。(実習2, 3班)
振り返り	1班:各自作業が進められていた。 2班:期間献立の案ができたが、大量調理が可能か等の問題がある。 3班:献立作成に時間がかかっている。 大量調理における献立作成のポイントを再度説明し、グループで作業している様子をイメージをさせる必要がある。

- ① 各単元の内容を具体的に記載 (全体、班ごと)
- ② 予習内容を記載 (全体、班ごと)
- ③ 事前準備しておく資料の記載



### 効果

- ① 各単元の内容が把握でき、予習内容が確認できる。
- ② 班ごとの内容を確認できる。
- ③ 事前準備しておく資料が確認できる。

これまでの学びの復習  
これからの学びの予習

研究報告4 実践事例報告① 家政学部の実践から

## ティーチングポートフォリオメタデータ (サイボウズ版)

表題名 (ふりがな)	マネージメント演習 No.10-12
資料名 (ふりがな)	岐阜女子大学の給食管理・経営マニュアル, 第2~5回目配布資料
作成者	笠井恵里
内容分類	給食経営管理論
内容細目	給食の生産 (調理)
対象時代・年	2019/4/1
地域・場所	岐阜女子大学
索引語 (キーワード)	調理学, 給食経営, 給食管理, 大量調理, 献立立案, ノロウイルス
内容	1. ノロウイルス対策 2. リーフレットの訂正 (実習 1、3 班) 3. 発注書および作業工程表・導線表の課題 (実習 1、3 班) 4. グループの期間献立の作成および見直し (実習 2 班) 各日朝・昼のテーマを決定するとともに期間献立の作成 期間献立に沿った栄養価計算、原価計算 作業工程表、作業導線表の作成 グループの期間献立作成 (実習 3 班)
特色	・ノロウイルス対策について理解できる。 ・発注書の作成ができる。(実習 1 班) ・グループで朝食、昼食の期間献立が作成できる。(実習 2、3 班) ・作業工程表・導線表の作成ができる。(実習 3 班)
活用支援 (利用注意)	・授業前までに work112 に保存されている資料 (第 11 回目)を確認しておく。 ・ノロウイルス対策についてまとめておく。 ・前回までに立てた期間献立を確認しておく。(実習 2、3 班)
振り返り	1 班:各自作業が進められていた。 2 班:期間献立の案ができたが、大量調理が可能か等の問題がある。 3 班:献立作成に時間がかかっている。 大量調理における献立作成のポイントを再度説明し、グループで作業している様子をイメージをさせる必要がある。

ティーチングポートフォリオ (Evernote 版)

- ①日時 2019年7月9日火曜日 1、2限目 実習2、3班
- ②キーワード 2班・期間献立の見直し、3班・リーダー、副リーダー決め、期間献立作成開始
- ③課題 2班・期間献立の栄養価計算、3班・期間献立作成開始
- ④授業の様子 2班・期間献立の中で、個々に気づいた点に付箋を貼り、全体で再度見直し。・栄養価計算に問題はないか、見直しを行っている。3班・各日のリーダー、副リーダーが決定。・期間献立は、全体ではなく、各日の朝昼担当者毎に集まり、決めている。これまでとは異なる。少人数である分、決まりやすい？しかし、朝昼の重なりが生じるのでは？



2019年度前期献立案				2019年度後期献立案			
2班				3班			
日	朝	昼	夜	日	朝	昼	夜
1	...	...	...	...	...	...	...
2	...	...	...	...	...	...	...
3	...	...	...	...	...	...	...
4	...	...	...	...	...	...	...
5	...	...	...	...	...	...	...
6	...	...	...	...	...	...	...
7	...	...	...	...	...	...	...
8	...	...	...	...	...	...	...
9	...	...	...	...	...	...	...
10	...	...	...	...	...	...	...
11	...	...	...	...	...	...	...
12	...	...	...	...	...	...	...

- ⑤振り返り
  - ・2班は、献立が具体化され始めたこと、話し合いにも慣れてきたこともあり(4回目)、食材や味付けの重なりを各自で気づくことができ始めている。
  - ・3班は、自分の考えた料理をあげ、期間献立にしている。
- ⑥課題
  - ・2班は、作業工程、予算の問題が残っている。次回、調整。
  - ・3班は、2日目まで案ができた。時間がかかっているため、各自でテーマに沿った献立案を確認させる。

# 生活科学専攻の事例報告

高橋 正司

## 実施した授業「教育制度」（教職科目）

○教職の基礎理解に関する科目

教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

### 授業の到達目標（シラバス）

- 日本の教育制度全般の基盤となっている教育法規を概観する。
- 教職に就くにあたって理解しておくことが必要な教育法規について、学校教育に関するものを中心に理解し、教育実践者としての資質を培う。

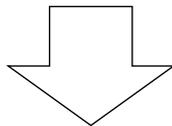
※受講者は生活、健栄、文創、初等の3年生

研究報告4 実践事例報告① 家政学部の実践から

# 生活科学専攻の事例報告

## ティーチングポートフォリオメタデータ（サイボウズ版）

- ①キーワード
- ②各回の講義内容の柱と関係法規等（内容）
- ③各回の講義における学修目標（特色）
- ④資料の提示とポートフォリオ作成の指示（活用支援）
- ⑤各回の講義の反省・補足・変更点など（振り返り）



## ティーチングポートフォリオの効果

- ①各回の講義内容を学生が確認出来る（予習・復習）
- ②ラーニングポートフォリオ作成のベース
- ③ URL埋め込みにより参考資料をその場で確認可能
- ④欠席した講義について学生が補習可能（補講の課題にも活用）

表題名（ふりがな）	教育制度 No.8 (きょういくせいど)
資料名（ふりがな）	教育小六法（きょういくしやうろっぽう）、教育制度資料P.12-13、参考資料1
作成者	高橋正司
内容分類	教職の基礎理解に関する科目
内容細目	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項
対象時代・年	2019/6/7
地域・場所	岐阜女子大学
索引語（キーワード）	教育法規、教育制度、学校制度、児童・生徒の管理、懲戒、休罰
内容	学校教育に関する教育法規その3 児童・生徒の管理 ・ 出席の管理（学教令19、20条、学校規25条） ・ 終了・卒業認定（学校規57、58、79、104、113条他） ・ 指導要録（24、28条） ・ 学年・学期・休業日（58～62条） ・ 児童・生徒の懲戒と休罰（学教法11条、学校規26条）
特色	・ 指導の基本である出席の把握、指導要録の性格について法令の規定を踏まえて理解する ・ 出席の管理が、義務科の履修、不登校や児童虐待への対応と深く関係することを理解する ・ 校長、教員には懲戒権が認められているが、休罰の禁止など一定の制約があることを理解する
活用支援（利用法）	・ 教育制度資料P.12 <a href="http://www.mext.go.jp/bin/cbaa/as.cgi?page=FileView&amp;id=63048fcd0-13638938ff1d-1519865">csi-bin/cbaa/as.cgi?page=FileView&amp;id=63048fcd0-13638938ff1d-1519865</a> ・ 教育制度資料P.13 <a href="http://www.mext.go.jp/bin/cbaa/as.cgi?page=FileView&amp;id=63048fcd0-13638938ff1d-1519868">csi-bin/cbaa/as.cgi?page=FileView&amp;id=63048fcd0-13638938ff1d-1519868</a> ・ 参考資料（出典は下記） <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/07020809.htm">csi-bin/cbaa/as.cgi?page=FileView&amp;id=63048fcd0-13638938ff1d-1519875</a> 問題行動を起こす児童生徒に対する指導について（通知）2007.2.5 <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/07020809.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/07020809.htm</a> 休罰の禁止及び児童生徒理解に基づく指導の徹底について（通知）2013.3.13 <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1331907.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1331907.htm</a> ・ Evernoteでポートフォリオ作成（本時のまとめ） ・ 次時の内容の予告（資料を入手し、関連部分を目を通しておく）。
振り返り	・ 休業日に関して、各教育委員会の判断で土曜日授業が可能なこと、また「キッズウィーク」導入に伴う「体系的学習活動等休業日」について補足説明 ・ 義務教育における停学、退学の扱い、出席停止、休罰に関する詳細な解説は次時へ持ち越し。

研究報告4 実践事例報告① 家政学部の実践から

# 生活科学専攻の事例報告

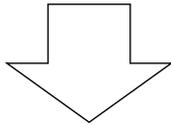
## ティーチングポートフォリオ (Evernote版)

基本的にはサイボウズ版と同様

①～④ (内容・特色・活用支援・振り返り)

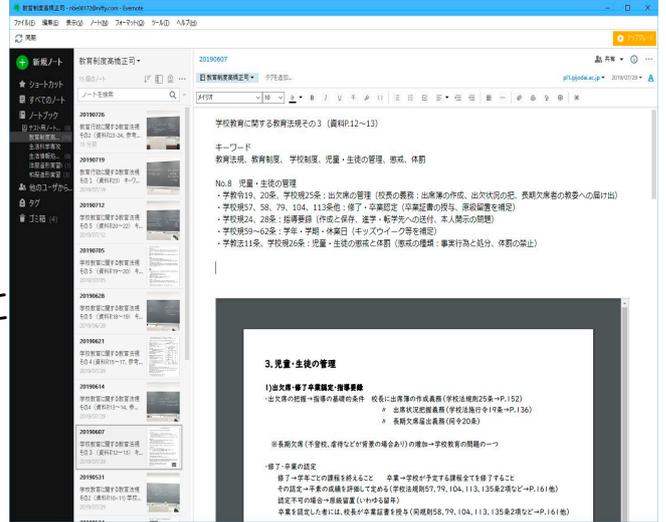
⑤板書を撮影して記録

ノートブック名を「教育制度」、ノート名を授業の日付に  
「例：20190617」



## ティーチングポートフォリオの効果と課題

- ①各回の講義内容確認と振り返り (次年度へ向けて)
- ②講義の記録 (板書、学生の発言等)
- ③いつでも参照が可能 (資料等も含む)
- ④授業内での記録は粗いメモ程度が限度
- ⑤Evernoteの仕様による限界 (ファイル容量など)



研究報告4 実践事例報告① 家政学部の実践から

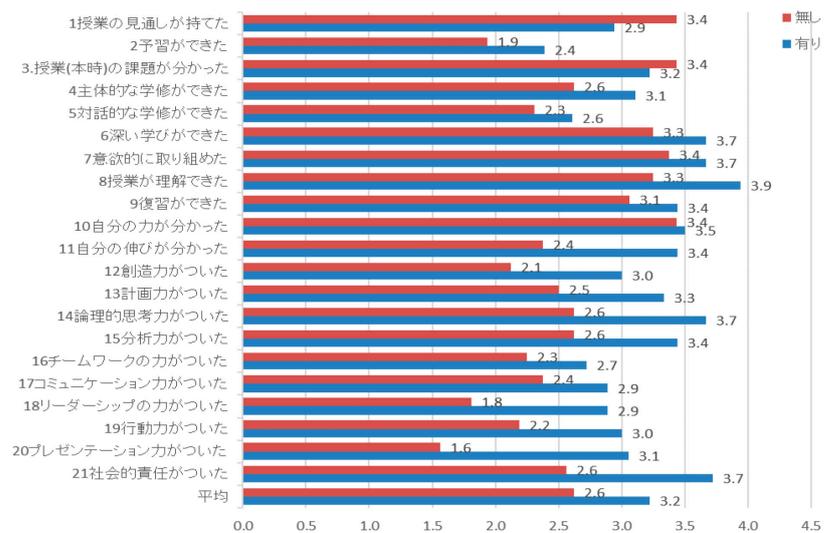
# 生活科学専攻の事例報告

## ラーニングポートフォリオの有無による学生の意識の違い

全質問項目の平均  
ポートフォリオ有り 3.2  
ポートフォリオ無し 2.6  
ほとんどの項目で「有り」の方が高スコア

「有り」と「無し」の差が大きかった項目  
自分の伸びが分かった  
論理的思考力がついた  
リーダーシップの力がついた  
プレゼンテーション力がついた  
社会的責任がついた

「無し」の方が高かった項目  
授業の見通しが持てた  
授業(本時)の課題が分かった



研究報告4 実践事例報告① 家政学部の実践から

ティーチングポートフォリオメタデータ（サイボウズ版）

表題名（ふりがな）	教育制度) No.8 (きょういくせいど)
資料名（ふりがな）	教育小六法（きょういくしょうろっぽう）、教育制度資料 P.12-13、参考資料 1
作成者	高橋正司
内容分類	教職の基礎理解に関する科目
内容細目	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項
対象時代・年	2019/6/7
地域・場所	岐阜女子大学
索引語（キーワード）	教育法規、教育制度、学校制度、児童・生徒の管理、懲戒、体罰
内容	学校教育に関する教育法規その3 児童・生徒の管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出欠席の管理（学教令 19、20 条、学校規 25 条）</li> <li>・終了・卒業認定（学校規 57、58、79、104、113 条他）</li> <li>・指導要録（24、28 条）</li> <li>・学年・学期・休業日（59～62 条）</li> <li>・児童・生徒の懲戒と体罰（学教法 11 条、学校規 26 条）</li> </ul>
特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導の基本である出欠席の把握、指導要録の性格について法令の規定を踏まえて理解する</li> <li>・出欠席の管理が、義務就学の履行、不登校や児童虐待への対応と深く関係することを理解する</li> <li>・校長、教員には懲戒権が認められているが、体罰の禁止など一定の制約があることを理解する</li> </ul>
活用支援（利用注意）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育制度資料 P.12 <a href="http://bin/cbag/ag.cgi?page=FileView&amp;gid=6304&amp;fCID=1363893&amp;fFID=1519865">cgi-bin/cbag/ag.cgi?page=FileView&amp;gid=6304&amp;fCID=1363893&amp;fFID=1519865</a></li> <li>・教育制度資料 P.13 <a href="http://bin/cbag/ag.cgi?page=FileView&amp;gid=6304&amp;fCID=1363893&amp;fFID=1519868">cgi-bin/cbag/ag.cgi?page=FileView&amp;gid=6304&amp;fCID=1363893&amp;fFID=1519868</a></li> <li>・参考資料 1（出典は下記） <a href="http://bin/cbag/ag.cgi?page=FileView&amp;gid=6304&amp;fCID=1363893&amp;fFID=1519875">cgi-bin/cbag/ag.cgi?page=FileView&amp;gid=6304&amp;fCID=1363893&amp;fFID=1519875</a></li> </ul> <p>問題行動を起こす児童生徒に対する指導について（通知）2007.2.5 <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/07020609.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/07020609.htm</a></p> <p>体罰の禁止及び児童生徒理解に基づく指導の徹底について（通知）2013.3.13 <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1331907.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1331907.htm</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Evernote でポートフォリオ作成(本時のまとめ)。</li> <li>・次時の内容の予告（資料を入手し、関連部分に目を通しておく）。</li> </ul>
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休業日に関して、各教育委員会の判断で土曜日授業が可能なこと、また「キッズウィーク」導入に伴う「体験的学習活動等休業日」について補足説明</li> <li>・義務教育における停学、退学の扱い、出席停止、体罰に関する詳細な解説は次時へ持ち越し。</li> </ul>

## ティーチングポートフォリオ (Evernote 版)

The screenshot shows the Evernote desktop interface. The left sidebar displays a list of notes under the folder '教育制度高橋正司'. The main content area shows a note titled '20190607' with the following text:

学校教育に関する教育法規その3 (資料P.12~13)

キーワード  
教育法規、教育制度、学校制度、児童・生徒の管理、懲戒、体罰

No.8 児童・生徒の管理

- ・学教令19、20条、学校規25条：出席簿の管理（校長の義務：出席簿の作成、出席状況の把握、長期欠席者の教委への届け出）
- ・学校規57、58、79、104、113条他：修了・卒業認定（卒業証書の授与、原級留置を補足）
- ・学校規24、28条：指導要録（作成と保存、進学・転学先への送付、本人開示の問題）
- ・学校規59~62条：学年・学期・休業日（キッズウイーク等を補足）
- ・学教法11条、学校規26条：児童・生徒の懲戒と体罰（懲戒の種類：事実行為と処分、体罰の禁止）

The note content is displayed in a preview window, showing a document with the following text:

**3. 児童・生徒の管理**

**1) 出席簿・修了卒業認定・指導要録**

- ・出席簿の把握→指導の基礎的条件 校長に出席簿の作成義務(学校法規則25条→P.152)
  - // 出席状況把握義務(学校法施行令19条→P.136)
  - // 長期欠席届出義務(同令20条)

※長期欠席(不登校、虐待などが背景の場合あり)の増加→学校教育の問題の一つ

- ・修了・卒業の認定
  - 修了→学年ごとの課程を終えること 卒業→学校が予定する課程全てを修了すること
  - その認定→平常の成績を評価して定める(学校法規則57、79、104、113、135条2項など→P.161他)
  - 認定不可の場合→原級留置(いわゆる留年)
  - 卒業を認定した者には、校長が卒業証書を授与(同規則58、79、104、113、135条2項など→P.161他)

## ティーチングポートフォリオ (Evernote Web 版)

The screenshot shows the Evernote web interface. The left sidebar displays a list of notes under the folder '教育制度高橋正司'. The main content area shows a note titled '20190607' with the following text:

学校教育に関する教育法規その3 (資料P.12~13)

キーワード  
教育法規、教育制度、学校制度、児童・生徒の管理、懲戒、体罰

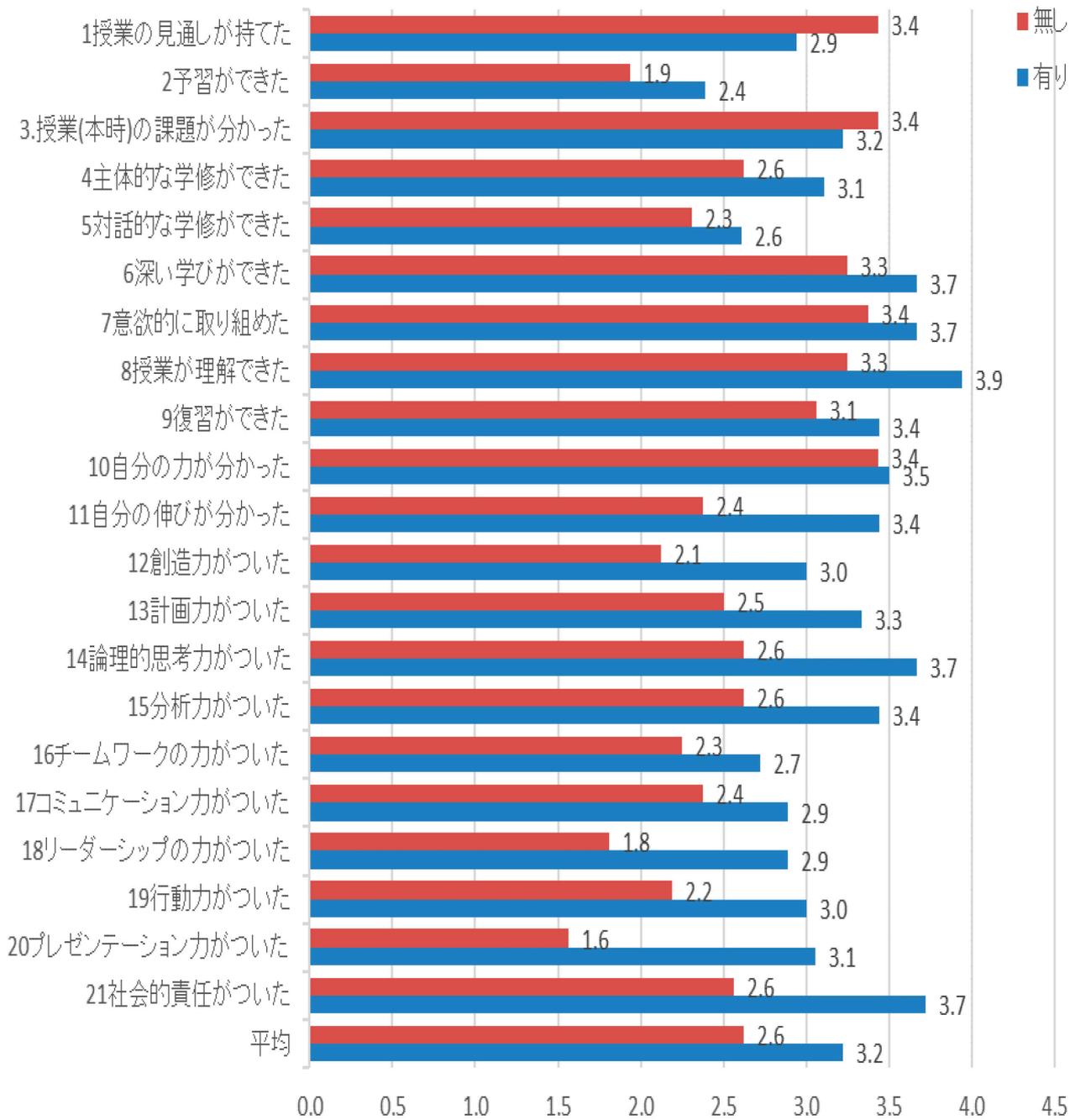
No.8 児童・生徒の管理

- ・学教令19、20条、学校規25条：出席簿の管理（校長の義務：出席簿の作成、出席状況の把握、長期欠席者の教委への届け出）
- ・学校規57、58、79、104、113条他：修了・卒業認定（卒業証書の授与、原級留置を補足）
- ・学校規24、28条：指導要録（作成と保存、進学・転学先への送付、本人開示の問題）
- ・学校規59~62条：学年・学期・休業日（キッズウイーク等を補足）
- ・学教法11条、学校規26条：児童・生徒の懲戒と体罰（懲戒の種類：事実行為と処分、体罰の禁止）

Below the text, there are three PDF attachments:

- seido19-12.pdf (99.1 KB)
- seido19-13.pdf (110.7 KB)
- seido19-資料01.pdf (218.2 KB)

ラーニングポートフォリオの有無による学習評価の違い

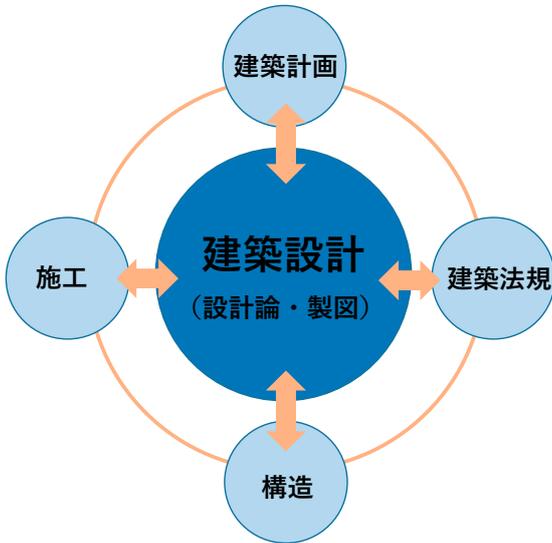


- 1：あてはまらない
- 2：ややあてはまらない
- 3：どちらともいえない
- 4：ややあてはまる
- 5：あてはまる

### 住居学専攻の事例報告

#### 「設計論・製図Ⅱ」の内容と位置づけ

授業内容 木造2階建て専用住宅を課題として自由設計を学修する。  
住宅の計画の進め方、関連法規、軸組み工法などのより深い理解と  
設計論・製図Ⅰ等他の授業で学んだ知識をベースに住宅設計で実践を行う。



建築設計はすべての知識を**統合化**されたものである。  
他の授業で習得する知識を体系的に集約して実践。

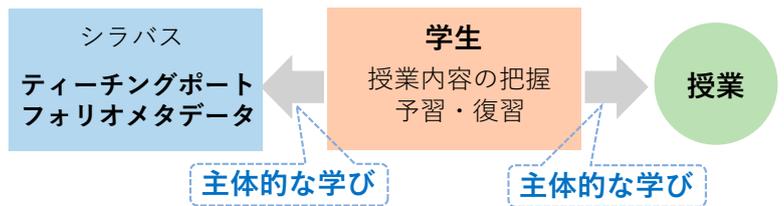
建築設計（設計論・製図）の授業と  
他の授業の**関連性を明確化**

### ティーチングポートフォリオ

### 住居学専攻の事例報告

#### ティーチングポートフォリオメタデータ (サイボウズ版)

表題名 (ありがな)	設計論・製図Ⅱ No.2-No.4 (せつけいろん・せいず)
資料名 (ありがな)	新しい建築の製図 (あたらしいけんちくのせいず) すまいの寸法・計画事典 (すまいのすんぽう・けいかくじてん)
作成者	森田実沙
内容分類	設計製図
内容細目	木造二階建住宅
対象時代・年	2019/3/29
地域・場所	岐阜女子大学
索引語 (キーワード)	設計, 製図, 二級建築士, 木造
内容	本課題の実践 (1) 課題文の読み取り：重要な条件等をマーク処理し、条件を読み取る (2) 建物規模の検討：延べ面積条件から上限値と下限値を確認し、要求室の大きさと併せて建物のボリュームを検討する (3) 計画の要点の確認：要求内容確認し、ポイントとなるべき項目を把握する (4) エスキス (プランニング) 実践：重要な条件を優先して、各階の動線を意識しながらエスキスを実施する (5) エスキスチェック：課題文を確認し、面積や条件が反映されているかをチェックする
特色	・各自で自由設計に取り組むことで、住宅計画の進め方を学ぶ。 ・二級建築士の試験で必要なレベルの設計力を身につける。 ・軸組構造の理解を深めることができる。 ・設計をするにあたり必要な、各室、各空間、各部位の必要寸法を導き出すことができる。
活用支援 (利用注意)	・テキスト、参考資料 (新しい建築の製図、すまいの寸法・計画事典等) を用いて、課題に取り組む ・設計するにあたり参考となる住宅をインターネット、雑誌等で調べる ・設計するにあたり参考となる各種設備・建材メーカー等のカタログを調べる (例：LIXIL, TOTO, Panasonic等) ・Evernoteでポートフォリオ作成(本時のまとめ、進捗状況の記録、参考資料のまとめ)
振り返り	・課題文の読み取り、要求室の面積の換算までは全員が終了した。しかし、個々の進捗状況に大きな差が見られる。 ・駐車スペース、駐輪スペースの基本寸法が定着していない学生が約半数いる。 ・レストランの客席部分の必要面積の算出方法の説明を追加して行った。(建築計画学Ⅱの授業時に使用している教科書「やさしい建築計画」p120を参考)



- ・学修目的、内容を学生にきちんと伝えることができる。
- ・学生が授業内容を細かく把握でき、授業の見通しを立てることができる。
- ・事前に予習すべきこと、復習すべきことを確認できる。

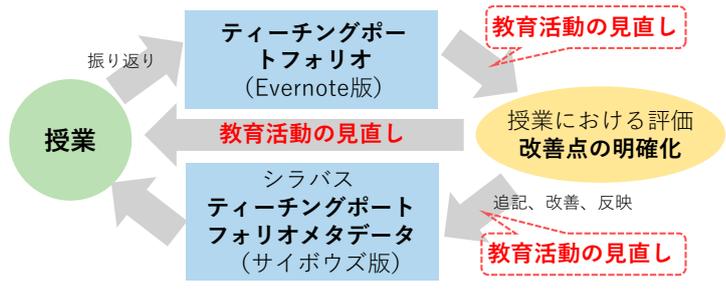
### 主体的な学び

## 住居学専攻の事例報告

### ティーチングポートフォリオ (Evernote版)

設計論・製図Ⅱ  
 ①日時：4月22日（月）Ⅳ・Ⅴ限目  
 ②キーワード：設計、製図、二級建築士、木造、レストラン併用住宅  
 ③課題：課題文を正確に読み取り、建物のボリュームを算出し、エスキス・ゾーニングを行う  
 ④授業の内容  
 ・課題文を正確に読み取り、条件整理をさせる。  
 ・要求室とその要求面積を書きだし、ゾーニングしやすいようにmから坪へ換算させる。  
 ・要求室の合計からおおよその各階のボリュームを検討させる。  
 ・各階の動線や周辺環境を意識しながらエスキスを進めさせる。  
 ・本授業での成果と振り返り、面積の根拠になる参考資料やゾーニングのポイント等をポートフォリオに記録し、学修の成果と設計のプロセス、授業事の進捗状況を可視化する。

⑤振り返り  
 ・課題文の読み取り、条件整理は皆で一斉に行った。  
 ・mから坪への換算は全員ができていた。  
 ・1年次に学習した駐車スペース、駐輪スペースの大きさの基本寸法が定着していない学生がみられた。  
 「新しい建築の製図」p16~17、「やさしい建築計画」p130  
 ・レストランの客席部分の必要面積の算出方法が分からない学生が多かったため、建築計画の教科書を用い、説明を行った。  
 「やさしい建築計画」p120 飲食店客席必要な広さ 約2m/人  
 ・進めていくスピードの個人差が大きい。学生によっては、要求室の要求面積をmから坪へ換算させるのに時間がかかり、ゾーニングに入れない学生も見受けられる。  
 ・事前に1年次の復習をさせておいたほうが良いと思った点が上記に挙げたようにみられた。



**ティーチングポートフォリオメタデータ (サイボウズ版) の改善**

- ・学生の能力の把握ができ、今後の事前学習（予習）の項目が具体的になる。
- ・どこの場面でのどの習得知識と関連性があるのかを明記することができる。
- ・成果物に対しての評価のだけでなく、設計のプロセスについての評価が具体的になる。

**授業の改善**

- ・理解度が低い箇所を把握し、重点的に授業を行うことができる。
- ・予習項目が具体化されることで、より発展的な授業を行うことができる。

### 教育活動の見直し

## 住居学専攻での実践から

### 実践した結果

- ・教育活動の改善  
 ティーチングポートフォリオ (Evernote版) を行っていくと、必然的にティーチングポートフォリオメタデータ (サイボウズ版) の改善点や追記すべき点、授業の改善点に分かる。  
 →学生の主体的な学びのしやすさにつながる

### 今後の課題

- ・学生のティーチングポートフォリオメタデータ (サイボウズ版) の活用  
 学生がティーチングポートフォリオを閲覧し、予習・復習を行うことを習慣化させていきたい。
- ・ティーチングポートフォリオとラーニングポートフォリオの連動性  
 学生のラーニングポートフォリオを教員と共有し、学生一人ひとりのその授業毎の理解度や進捗状況、評価をティーチングポートフォリオに反映できるとよいのではないかと。

ティーチングポートフォリオメタデータ（サイボウズ版）

表題名（ふりがな）	設計論・製図Ⅱ No.2-No.4（せっけいろん・せいず）
資料名（ふりがな）	新しい建築の製図（あたらしいけんちくのせいず） すまいの寸法・計画事典（すまいのすんぼう・けいかくじてん）
作成者	森田実沙
内容分類	設計製図
内容細目	木造二階建住宅
対象時代・年	2019/3/29
地域・場所	岐阜女子大学
索引語（キーワード）	設計,製図,二級建築士,木造
内容	<p>本課題の実践</p> <p>（1）課題文の読み取り：重要な条件等をマーク処理し、条件を読み取る</p> <p>（2）建物規模の検討：延べ面積条件から上限値と下限値を確認し、要求室の大きさと併せて建物のボリュームを検討する</p> <p>（3）計画の要点の確認：要求内容確認し、ポイントとなるべき項目を把握する</p> <p>（4）エスキス（プランニング）実践：重要な条件を優先して、各階の動線を意識しながらエスキスを実施する</p> <p>（5）エスキスチェック：課題文を確認し、面積や条件が反映されているかをチェックする</p>
特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自で自由設計に取り組むことで、住宅計画の進め方を学ぶ。</li> <li>・二級建築士の試験で必要なレベルの設計力を身につける。</li> <li>・軸組構造の理解を深めることができる。</li> <li>・設計をするにあたり必要な、各室、各空間、各部位の必要寸法を導き出すことができる。</li> </ul>
活用支援（利用注意）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト、参考資料（新しい建築の製図、すまいの寸法・計画辞典等）を用いて、課題に取り組む</li> <li>・設計するにあたり参考となる住宅をインターネット、雑誌等で調べる</li> <li>・設計するにあたり参考となる各種設備・建材メーカー等のカタログを調べる（例：LIXIL,TOTO,Panasonic 等）</li> <li>・Evernote でポートフォリオ作成(本時のまとめ、進捗状況の記録、参考資料のまとめ)</li> </ul>
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題文の読み取り、要求室の面積の換算までは全員が終えた。しかし、個々の進捗状況に大きな差が見られる。</li> <li>・駐車スペース、駐輪スペースの基本寸法が定着していない学生が約半数いる。</li> <li>・レストランの客席部分の必要面積の算出方法の説明を追加して行った。（建築計画学Ⅱの授業時に使用している教科書「やさしい建築計画」p120を参考）</li> </ul>

## ティーチングポートフォリオ（Evernote 版）

- ①日時：4月22日（月）Ⅳ・Ⅴ限目  
 ②キーワード：設計、製図、二級建築士、木造、レストラン併用住宅  
 ③課題：課題文を正確に読み取り、建物のボリュームを算出し、エスキス・ゾーニングを行う  
 ④授業の内容
- ・課題文を正確に読み取り、条件整理をさせる。
  - ・要求室とその要求面積を書きだし、ゾーニングしやすいように㎡から坪へ換算させる。
  - ・要求室の合計からおおよその各階のボリュームを検討させる。
  - ・各階の動線や周辺環境を意識しながらエスキスを進めさせる。
  - ・本授業での成果と振り返り、面積の根拠になる参考資料やゾーニングのポイント等をポートフォリオに記録し、学修の成果と設計のプロセス、授業事の進捗状況を可視化する。

- ⑤振り返り
- ・課題文の読み取り、条件整理は皆で一斉に行った。
  - ・㎡から坪への換算は全員ができていた。
  - ・1年次に学習した駐車スペース、駐輪スペースの大きさの基本寸法が定着していない学生が見られた。
- 「新しい建築の製図」 p5~6、「やさしい建築計画」 p130
- ・レストランの客席部分の必要面積の算出方法が分からない学生が多かったため、建築計画の教科書を取り出して、説明を行った。
- 「やさしい建築計画」 p120 飲食店客席必要な広さ 約2㎡/人
- ・進めていくスピードの個人差が大きい。学生によっては、要求室の要求面積を㎡から坪へ換算させるのに時間がかかり、ゾーニングに入れられない学生も見受けられる。
  - ・事前に1年次の復習をさせておいたほうが良いと思った点が上記に挙げたようにみられた。
  - ・要求室の大きさの検討↓

$5K \times 2.5A = 37.5T$

L2F 16.5T  
1F 10T  
3F 19.5T  
→ 24.5T  
→ 6.2T

設計論・製図Ⅱ 面積換算表

・住宅設計の場合 平面図（図取り）は、坪数または畳数に換算してから行う。  
 ・木造住宅の場合は尺モジュール（@910）を用いる。  
 ・坪×間 に換算して910の7割に落とし込みやすいようにする。

階数	室名	必要面積 (㎡)	坪数 (㎡×0.3025)	畳数 (坪数×2)	間数 (坪数×2.5K)	その他必要な 間数(廊下、出入等)	合計坪数 坪
1	居住室	30	9.075	18.15	20	4K×2.5K	11.0
1	廊下	9	2.7225	5.445	6		2.0
1	客席	3.21×4	1.0044	2.0088	2	10×10	1.5
1	トイレ	4.50	1.36125	2.7225	2		1.5
1	キッチン	2.0	0.605	1.21	1		0.8
1	洗面	1.5	0.45375	0.9075	1		0.5
1	浴室	2.4843	0.7502	1.5004	2		1.0
1	玄関	1.65	0.496125	0.99225	1		0.5
2	天棚	19	5.7475	11.495	12		7.0
2	天井	214(9)×2	2.9452	5.8904	6×2		2.0
2	書斎	6	1.815	3.63	2		1.0
2	浴室	3.965	1.199225	2.39845	2		1.0
2	洗面	2.5	0.75625	1.5125	2		1.0
2	トイレ	1.65	0.496125	0.99225	1		0.5
2	玄関	2.0	0.605	1.21	2		1.0

下(20) 16㎡×2 4.80坪  
 上(20) 13㎡×2 3.930坪  
 合計 15㎡ 4.530坪

# 初等教育学専攻の事例報告

「教育の方法・技術」の  
 内容と位置づけ

「教職に関する理論を理解する能力」  
 を身に付ける科目

- (1) 教育の方法・技術に関する基礎的な知識・技能を身に付ける
- (2) 情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付け実践できる。

教職に関する理論を理解する能力の科目系統表  
 ～カリキュラム・ポリシー～

レベル	区分	科目
専門	実践演習	<b>教育の方法・技術(3年)</b> 教職教養 (3～4年)
	専門実践	教育方法論 (3年)
基礎専門	応用演習	教育相談Ⅱ (2年) 教育相談Ⅰ (3年)
	専門応用	教育原理・教育心理学 (2年) 教育課程論 (2年) 教育制度・幼児理解 (3年)
基礎	基礎演習	初等教育学概論 (1年)
	専門基礎	教師論 (1年)

# ティーチングポートフォリオメタデータ (サイボウズ版)

- (1) ティーチングポートフォリオの内容
  - ① 科目における1コマの位置づけを示す
  - ② 1コマの到達目標・学修内容を明確にする
  - ③ 1コマの評価規準(ルーブリック(4段階))を明確にする



(2) ティーチングポートフォリオの効果

- ① 科目全体を通して学ぶこと、本時の位置づけを意識できる
- ② 到達目標とそれを達成できたかの規準が明確になり、何を学ぶべきか学生が理解できる

### ティーチング・ポートフォリオメタデータ

実施名(ありがた)	教育の方法・技術 No.12 (きょうい(3)333・まじゅう)
資料名(ありがた)	未来を拓く 積極的めざす (めらいむきくまきょうしむさ)
作成者	齋藤陽子
内容分類	教育方法
内容種目	教授法
実施年代・年	2019/20
地域・場所	岐阜女子大学 11号館5階(11503教室)
所属課(テナント)	教授法、教授学習支援
内容	1. 教職デザインの実践 <1コマまでの内容> (1) 小学校教育課程(専修)「科目」を題材に、学びのデザインを立案する (2) 教育実践を振り返る「シート」である「目的・目的の達成度(等)」と「何かを考える」 (3) (2)の考えを共有し、(1)の準備を振り返る (4) 教職の9教職事象・A R C Sモデルを知る <本時の内容> (5) 教職の9教職事象が(3)の学びのデザインに入っているかを確認し、学びのデザインを再確認する
特色	・協働を通じて、学びのデザインを導いていく ・自らの経験において、教授学習支援として身につけていく ・授業前に「教育学習支援」(文庫版、平成29年9月発行)の小学校教育課程の第3学年を読み、第3学年での目標や内容を自分なりに振り返る ・授業中に「シート」を参考にしながら、実践の振り返りを行う ・授業後に「Canvas」でポートフォリオを作成する ・本時の学習内容のまとめと自分の考えと自己評価を入れる ・到達目標と、教職の9教職事象(3)の学びのデザインに入っているかを確認し、学びのデザインを再確認できる。である。
活用支援(利用は意)	・4: 教職の9教職事象が取り入れられた学びのデザインを立案で 3: 教職の9教職事象が取り入れられた学びのデザインを立案できた 2: 教職の9教職事象が取り入れられた学びのデザインが、一部立案できた 1: 教職の9教職事象が取り入れられた学びのデザインを立案できなかった。4段階で評価する。
振り返り	

# ティーチングポートフォリオ (Evernote版)

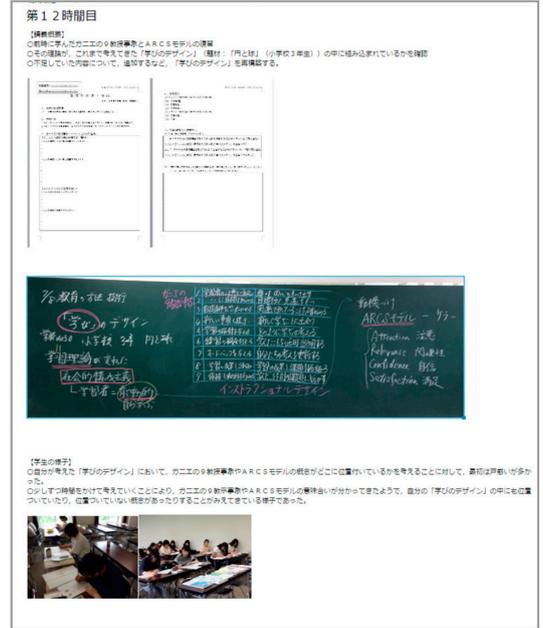
## (1) ティーチングポートフォリオの内容

- ① 講義概要の記録
- ② 講義レジュメの記録
- ③ 板書アーカイブ
- ④ 学生の様子メモ（理解度、次時に指導が必要なこと等）
- ⑤ 学生の様子の写真・学生のレジュメ等の記録



## (2) ティーチングポートフォリオの効果

- ① 講義内容の改善
- ② 学生の理解度等状況把握の深まり
- ③ 学生の意欲向上、
- ④ 評価への活用
- ⑤ 実態を把握し、次年度の講義の参考に



# 初等教育学専攻での実践から

## (1) 実践した結果

- ① 講義の1コマずつの到達目標・評価規準（ルーブリック）が明確になることで、学生が何を本時で学ぶかとその到達点を理解できた
- ② そのことにより、学生が学びを進めやすかった

←ティーチングポートフォリオメタデータ

- ③ 講義概要・レジュメ・板書・学生の様子の記録を毎時間蓄積することにより、授業改善に役立った

←ティーチングポートフォリオEvernote版

## (2) 今後の課題

- ① サイボウズ版ティーチングポートフォリオメタデータの閲覧数向上
  - ・ 学生自らが進んで閲覧することにより、主体的な学びへと誘うことができる
- ② 学生のラーニングポートフォリオとの連携
  - ・ 学生の振り返りを授業改善に役立てることが可能となり、より学生の学びの深化を図ることができる

←ティーチングポートフォリオEvernote版

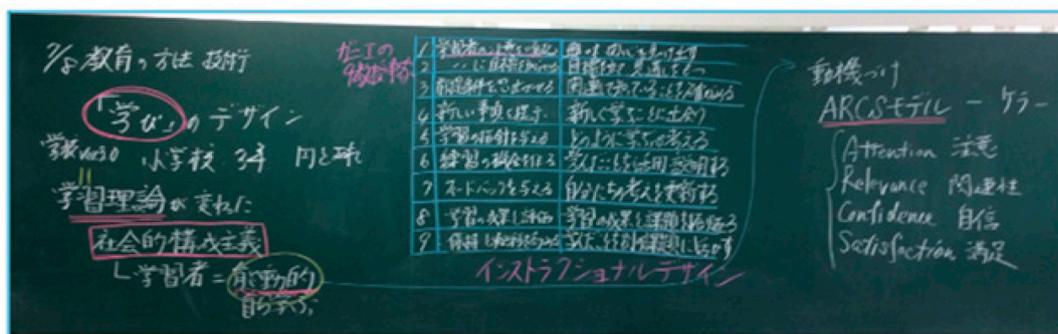
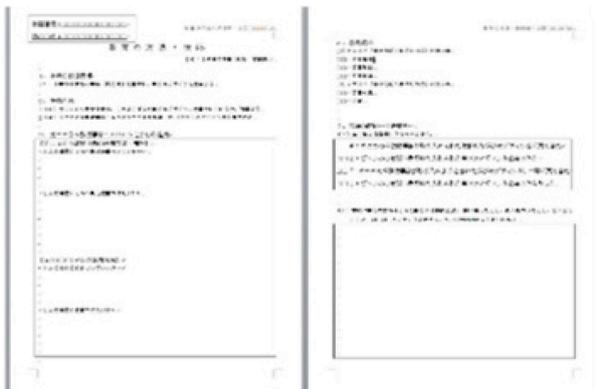
ティーチングポートフォリオメタデータ（サイボウズ版）

ティーチングポートフォリオ	記入者	齋藤陽子	記入日	2019/03/08
表題名（ふりがな）	教育の方法・技術 No. 11 （きょういくのほうほう・ぎじゅつ）			
資料名（ふりがな）	未来を拓く教師のわざ （みらいをひらくきょうしのわざ）			
作成者	齋藤陽子			
内容分類	教育方法			
内容細目	教授法			
対象時代・年	2019/03			
地域・場所	岐阜女子大学			
索引語（キーワード）	教授法, 教授学習過程			
内容	<p>1. 学びのデザインの立案</p> <p>&lt;前時までの内容&gt;</p> <p>(1) 小学校算数第3学年「円と球」を題材に、学びのデザインを立案する</p> <p>(2) 新学習指導要領のポイントである「主体的・対話的で深い学び」とは何かを考える</p> <p>←9・10回目で実施 「Society5.0, 学校Ver3.0」</p> <p>(3) (2)の考えを受け、(1)の再構築を図る</p> <p>←新しい学びの方向性を示してから考えを作成した。</p> <p>(3) 個人で考える を実施する</p> <p>(4) ガニエの9教授事象・ARCSモデルを知る</p> <p>&lt;本時の内容&gt;</p> <p>(5) ガニエの9教授事象が(3)の学びのデザインに入っているかを確認し、学びのデザインを再構築する</p>			
特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段階を経て、学びのデザインを深めていく</li> <li>・各々の段階において、教授学習過程において身につけておくべき理論を獲得していく</li> </ul>			
活用支援（利用注意）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業前に、「新学習指導要領」（文科省、平成29年3月告示）の小学校算数の第3学年を読み、第3学年での目標や内容を自分なりに掴む。 (<a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/09/05/1384661_4_3_2.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/09/05/1384661_4_3_2.pdf</a>)</li> <li>・参考資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>○テキスト『未来を拓く教師のわざ』の第3章 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境・学習形態・学習指導</li> </ul> </li> <li>○テキスト『未来を拓く教師のわざ』の第7章 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習成果・評価</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・授業後に、テキスト、参考資料を用いて、本時のまとめのレポート作成（A4・1枚）</li> <li>・授業後に、Evernoteでポートフォリオ作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学修内容のまとめと自分の考えと自己評価を入れる。</li> <li>・到達目標は、ガニエの9教授事象が(3)の学びのデザインに入っているかを確認し、学びのデザインを再構築できる。である。</li> <li>・4：ガニエの9教授事象が取り入れられた独創的な学びのデザインを立案できた</li> <li>3：ガニエの9教授事象が取り入れられた学びのデザインを立案できた</li> <li>2：ガニエの9教授事象が取り入れようとされた学びのデザインが、一部立案できた</li> <li>1：ガニエの9教授事象が取り入れられた学びのデザインを立案できなかったの4段階で評価する。</li> </ul> </li> </ul>			
登録日／登録者	2019/03/06/齋藤陽子			
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガニエの9教授事象の文言は前時において知り得てはいたが、それを自分の考えた案と結びつけるという具体化に対して、困り感が学生にあったようである。</li> <li>→しかし、具体化の活動を行うことにより、困り感があったものの、具体的な事象にまで考えを至らすことが必要であることを認識できたものと考ええる。</li> <li>・ARCSモデルについても同様であったが、ARCSモデルについては、授業の導入の段階でしか活用できないものとの考えを示す学生が多いことが、この活動をとって分かった。自分の学びのデザインに落とし込む活動をとって、学生の理解の実態を掴むことができた。</li> </ul>			

## 第12時間目

### 【研修概要】

- 前時に学んだカニエの9教授事象とARCSモデルの復習
- その理論が、これまで考えてきた「学びのデザイン」（題材：「円と球」（小学校3年生））の中に組み込まれているかを確認
- 不足していた内容について、追加するなど、「学びのデザイン」を再構築する。



### 【学生の様子】

- 自分が考えた「学びのデザイン」において、カニエの9教授事象やARCSモデルの概念がどこに位置しているかを考えることに対して、最初は戸惑いがあった。
- 少しずつ時間をかけて考えていくことにより、カニエの9教授事象やARCSモデルの意味合いが分かってきたようで、自分の「学びのデザイン」の中にも位置づいていたり、位置づいていない概念があったりすることがみえてきている様子であった。





# 観光・英語専攻 (Evernote版)

## ・ティーチングポートフォリオの内容

- ① 授業の進捗状況・特色の記録
- ② 重要キーワードの記録
- ③ 授業の振り返り
- ④ 参考文献



## ・ティーチングポートフォリオの効果

- ① 次年度の授業の参考
- ② 次回授業の復習として
- ③ 授業内容の反省・改善
- ③ 学生の意欲向上、評価に活用

<p><b>授業内容</b></p> <p>6月18日 自分のまちのまちづくり これまでの事例地のまちづくり活動をかまえ、自分の生まれたまちの観光まちづくりの実態を調査する。DMOとは何か、地域文化、まちづくり団体（行政系）について自己学習、プレゼンテーションにまとめる。 6月25日、7月2日 プレゼンテーション 発表→質疑の場→自己評価・他者評価→ポートフォリオ 評価の観点、自分のまちのまちづくりを調査し、他の地域と比較し客観的にまちづくりを評価することが出来るか。</p> <p><b>特色</b></p> <p>・これまでの事例地の観光まちづくり政策、活動をかまえ自分の出身地のまちづくりを調査し、プレゼンテーションとしてまとめる。 ・まちづくり政策を他の市町村やNPOなどの取り組みと比較し、客観的にまちづくりについてまとめているか。</p> <p><b>キーワード</b></p> <p>(1) まちづくり、地域文化、DMO、観光の振い手 (2) 地域文化、発地観光、発地観光、交流人口、地域アイデンティティ (3) 観光ブランド化、地域ブランディング</p> <p>(2) 6月25日 静岡浜田県、掛川 (3) 7月2日 岐阜県大垣、山県、富山県奥部 (4) 7月23日 岐阜県岐阜</p> <p>・○○ 発表する際は、身振り手振りを入れながら実施。まちづくりイベントの概要状況まで調査している ・※※ 実施ばかりを覚えている。プレゼン内容は、細かく調べたためプレゼン力も高くなる必要あり ・※※ ◆ 英語に慣れながら、自分のまちづくり政策を発表している</p>
---

# 観光・英語専修での実践から

## ・実践した結果

- ・各単元の目標を提示しながら、シラバスでは表記しきれない細かい内容（学修内容・予習・復習）を記録することができた。
- ・講義⇄フィールドワーク実習を通して学生が何を学んでいるか学生ごとの考えを記録することができた。

## ・今後の課題

- ・サイボウズ版・Evernote版の更新作業に時間がかかったため、効率化を図る必要がある。
- ・成績評価の参考

ティーチングポートフォリオメタデータ（サイボウズ版）

表題名（ふりがな）	観光地づくりと学習 No.9-11
資料名（ふりがな）	観光庁 日本版 DMO（かんこうちょう にほんばん） <a href="http://www.mlit.go.jp/kankocho/page04_000048.html">http://www.mlit.go.jp/kankocho/page04_000048.html</a>
作成者	瀬戸敦子
内容分類	まちづくり
内容細目	地域活性
対象時代・年	2019/6/18
地域・場所	岐阜女子大学
索引語（キーワード）	地域文化、発地型観光、着地型観光、交流人口、地域アイデンティティ、観光ブランド化、地域ブランディング
内容	<p>1. 自分のまちのまちづくり 自分の生まれた（住んでいる）まちの観光まちづくりの実態を調査する。－1限－ DMO とは何か。地域文化、まちづくり団体について自己学習、プレゼンテーション準備、これまでの事例地との比較、他の地域とのまちづくり対策の比較を試みる。</p> <p>2. プレゼンテーション －2・3限－ 発表→質疑応答→自己評価・他者評価、ポートフォリオ 評価の観点 自分のまちのまちづくりを調査し、他の地域と比較し客観的にまちづくりを評価することが出来たか。</p>
特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの事例地の観光まちづくり政策、活動をふまえ自らの出身地のまちづくりを調査し、プレゼンテーションとしてまとめる。</li> <li>まちづくり政策を他の市町村や NGO などの取り組みと比較し、客観的にまちづくりについてまとめられているか。</li> </ul>
活用支援（利用注意）	<ul style="list-style-type: none"> <li>DMO に関する資料に目を通しておくこと。</li> <li>Evernote でポートフォリオ作成（パワーポイント、自己評価、他者評価、振り返り、レポート等）</li> </ul>
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域特有の価値を見出すまちづくりが紹介されたため、「地域アイデンティティ」、地元での「交流人口」増加を目指す動きが、現在まちづくりでは重要であると補足。</li> </ul> <p>&lt;プレゼンを通して&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学生が、自らのまちを「観光」を視点に捉え、これまで当たり前だった地域のモノやコトに価値があることを実感できた。</li> <li>10分程度のプレゼンの中で、いかに自らのまちの魅力を伝えることが出来るか。プレゼン力が試された。</li> <li>人に伝えるプレゼンにするには、アイコンタクトや声、スライドの見やすさ等どこに注意すべきなのかを他者評価を通して学ぶことが出来た。</li> <li>必ずしも観光まちづくりは良い事だけでなく、悪影響も与えていることを学べた。</li> <li>まちによっては、外部からの人を呼ぶ観光に力を入れるよりも、「住んでよいまち」をテーマに住民の日常生活をよりよくする取り組みに力を入れているまちがあった。住民のためのレジャー施設やイベント、祭りが行われていた。</li> </ul>

## ティーチングポートフォリオ (Evernote 版)

### 授業内容

6月18日

- ・自分のまちのまちづくり

これまでの事例地でのまちづくり活動をふまえ、自分の生まれたまちの観光まちづくりの実態を調査する。  
DMOとは何か、地域文化、まちづくり団体（行政含む）について自己学習、プレゼンテーションにまとめる。

6月25日、7月2日

- ・プレゼンテーション

発表→質疑応答→自己評価・他者評価→ポートフォリオ

評価の観点 自分のまちのまちづくりを調査し、他の地域と比較し客観的にまちづくりを評価することが出来たか。

### 特色

・これまでの事例地の観光まちづくり政策、活動をふまえ自らの出身地のまちづくりを調査し、プレゼンテーションとしてまとめる。

・まちづくり政策を他の市町村やNGOなどの取り組みと比較し、客観的にまちづくりについてまとめられているか。

### キーワード

- (1) まちづくり、地域文化、DMO、観光の担い手
- (2) 地域文化、発地型観光、着地型観光、交流人口、地域アイデンティティ
- (3) 観光ブランド化、地域ブランディング

(2) 6月25日

静岡県沼津、掛川

(3) 7月2日

岐阜県大垣、山県、富山県黒部

(4) 7月23日

岐阜県岐阜



- ・○○ 発表する際は、身振り手振りを入れながら笑顔。まちづくりイベントの集客状況まで調査している
- ・※※ 画面ばかりを見ている。プレゼン内容は、細かく調べてあるためプレゼン力を高める必要あり
- ・☆☆・◆◆ 周りに語り掛けながら、自らのまちづくり政策を発表している

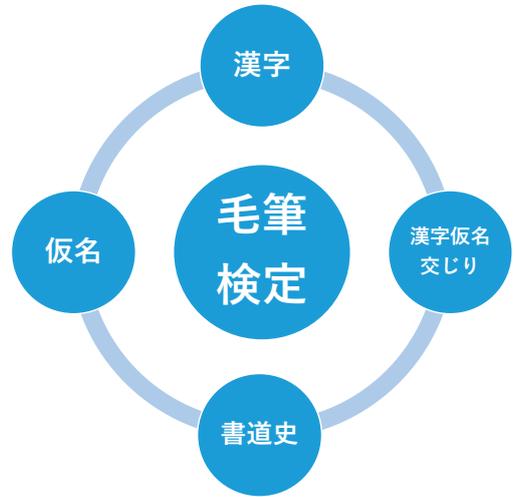
# 書道・国語専修の事例報告

## 「書写検定演習」の内容と位置づけ

- 文部科学省後援毛筆書写技能検定の準2～1級の合格を目指し、各問題の実技表現方法を深めることを目標とする。

検定内容は、漢字（篆書・隸書・楷書・行書・草書）・仮名・漢字仮名交じり・書道史のように多岐に渡っている。

そのため、検定だけに目を向けるのではなく、他授業との関連を示しながら、総合的に学習していく。



# 書道・国語専修（サイボウズ版）

## ティーチングポートフォリオの内容

- 科目における各回の講義の位置づけを示す
- 各回の講義の到達目標を明確にする



## ティーチングポートフォリオの効果

- 講義内容を確認することができる
- 学習の見通しを立てることができる
- 予習・復習に役立てることができる

課題名 (ふりがな)	書写検定演習(しょしゃけんていえんしゅう) No.1-3
資料名 (ふりがな)	実技合格者の答案例(じつぎごうかくしゃのとうあんれい)
作成者	山川結加
内容分類	書写
内容種目	硬筆, 毛筆
対象時代・年	2019/4/1
地域・場所	岐阜女子大学
素引講 (トピック)	書写, 硬筆検定, 毛筆検定
内容	<準2級> ・第1問 漢字(楷書4字) ・第2問 漢字(行書4字)
	<2級> ・第1問 漢字(楷書4字・行書4字)
	<準1級> ・第1問 漢字(楷書4字・行書4字・草書4字)
特色	・文部科学省後援 硬筆・毛筆書写技能検定の準2～1級を取得することができる
	・参考資料を基に、受験級及び受験日の目標設定
活用支援 (利用注意)	・各級の第1問又は第1・2問を練習 ・Evernoteでポートフォリオ作成 (よくできた点、賢い点、良い点、作品写真、次回の出題課題)
振り返り	・検定を既に準1級まで合格している学生、未受験の学生と差が大きいため、検定の概要の説明を行った。 ・合格者の答案例を提示することにより、それぞれの目標が定まり、検定日までの進捗を立てることができた。 ・平成30年度第1回毛筆検定進捗が参考

## 書道・国語専修 (Evernote版)

### ・ティーチングポートフォリオの内容

- ① 本時の学習内容
- ② 授業の振り返り
- ③ 次回までの課題



### ・ティーチングポートフォリオの効果

- ① 授業内容の反省・改善
- ② 次回授業の復習
- ③ 成績評価に活用

書写検定演習 1回目

- ①日時  
4月10日(水) IV限
- ②キーワード  
毛筆検定、書写
- ③授業の内容  
・参考資料を元に、それぞれ受験級を設定  
・受験級に応じて、実際にH30年度第1回毛筆検定第1問・第2問を取り組む。
- ④振り返り  
・検定を既に準1級まで合格済みの学生、未受験の学生とスタートの差が大きかった。
- ⑤課題  
・授業内で行った問題の添削を受けているので、そこから作品の完成度を高め次週提出。



## 書道・国語専修での実践から

### 実践した結果

- ・ 課題の明確化
- ・ 成績評価の参考
- ・ 毛筆検定受験者・受験級共に上昇  
(H30年度第1回：3級を3名受験  
→R元年度第1回：2級を7名受験/準2級を7名受験、計14名)

### 今後の課題

- ・ サイボウズ版ティーチングポートフォリオメタデータを活用
- ・ 学生のEvernoteを毎時間、教員と共有

ティーチングポートフォリオメタデータ（サイボウズ版）

表題名（ふりがな）	書写検定演習(しょしゃけんていえんしゅう) No.1-3
資料名（ふりがな）	実技合格者の答案例(じつぎごうかくしゃのとうあんれい)
作成者	山川結加
内容分類	書写
内容細目	硬筆, 毛筆
対象時代・年	2019/4/1
地域・場所	岐阜女子大学
索引語（キーワード）	書写, 硬筆検定, 毛筆検定
内容	<p>&lt;準2級&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1問 漢字(楷書4字)</li> <li>・第2問 漢字(行書4字)</li> </ul> <p>&lt;2級&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1問 漢字(楷書3字・行書3字)</li> </ul> <p>&lt;準1級&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1問 漢字(楷書4字・行書4字・草書4字)</li> </ul> <p>&lt;1級&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1問 漢字(楷書5字・行書5字・草書5字)</li> </ul>
特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省後援 硬筆・毛筆書写技能検定の準2～1級を取得することができる</li> </ul>
活用支援（利用注意）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考資料を基に、受験級及び受験日の目標設定</li> <li>・各級の第1問又は第1・2問を練習</li> <li>・Evernoteでポートフォリオ作成 (よくできた点、努力したい点、作品写真、次回の提出課題)</li> </ul>
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定を既に準1級まで合格している学生、未受験の学生と差が大きかったため、検定の概要の説明を行った。</li> <li>・合格者の答案例を掲示することにより、それぞれの目標が定まり、検定日までの道筋を立てることができた。</li> <li>・平成30年度第1回毛筆検定過去問参照</li> </ul>

# デジタルアーカイブ専攻の事例報告

- 「文化情報メディアⅢ」の内容と位置づけ
  - 3Dモデリング
    - (記録) 3Dスキャナの仕組みの理解
    - (記録) 3Dモデリングデータに関する技術 (2種)
    - (発信) 3Dプリンタの仕組みの理解
  - 紙資料のデジタル化と活用
    - (記録) オーバヘッドスキャナによる紙資料のデジタル化
    - (記録) OCRの適用
    - (保存) メタデータの付与
    - (発信) テキストマイニング (AI) の活用



# デジタルアーカイブ専攻 (サイボウズ版)

- ティーチングポートフォリオの内容
    - ① 授業全体における各単元の位置づけを示す
    - ② 各単元における目標を明確にする
- ↓
- ティーチングポートフォリオの効果
    - ① 学生による再確認で、学修目的や内容を十分に伝えられる
    - ② 学生がラーニングポートフォリオを効果的に行うことができる

表題名 (ふりがな)	文化情報メディアⅢ (ぶんかじょうほうめいあⅢ)
資料名 (ふりがな)	3Dデータの造形1 (3Dでーたのぞうせい) N0.2-4
作成者	榎 彩見
内容分類	情報工学
内容種目	画像情報処理
対象時代・年	2019/4/19
地域・場所	岐阜女子大学
索引語 (キーワード)	3D, モデリング, メタセコイア
内容	1. デジタルアーカイブにおける3Dデータの 2. メタセコイアの利用・基礎 3. メタセコイアの利用・応用 4. メタセコイアによる3Dデータの造形
特色	1. デジタルアーカイブにおける3Dデータの必要性を理解する 立体物のデジタルアーカイブには、3Dスキャナを使って3Dデータとして記録する方法がある。 3Dデータがあればモデリングにより、いつでもコンピュータ上で資料の閲覧が可能となる。 また複製もできるため、クローン文化財への活用など、地方創生へとつなげることができる。 2. メタセコイアを操作できる 3Dデータ化のためには3Dスキャナでデータ化する必要がある。 しかし誤差が生じることが多く、その補正は人の手で行っていく。 そのためにはモデリングの操作方法や技術が必要である。 この授業ではメタセコイアの操作方法を習得する。 基本図形の造形、曲面制輪、ミラーリング、材質設定、ナイフ、押し、他 3. 目的にあわせた3Dデータの造形方法を習得する 球体の組み合わせによる造形 質感を意図した造形 4. 自由自在に3Dデータの造形が可能となる
活用支援 (利用注 意)	造形が遅れている場合は、空き時間に進めておく 分らないところは授業中や参考書を見て学修する 授業員: <a href="https://naibu.gijodai.ac.jp/avami/joho3/">https://naibu.gijodai.ac.jp/avami/joho3/</a> 参考員: <a href="https://howto.clip-studio.com/library/categories/view/melasequoia">https://howto.clip-studio.com/library/categories/view/melasequoia</a>
振り廻り	画面を使って上手に、ゆったり説明しないと伝わらない。 作成をしていて聞いていない学生もいるため、何回か説明したり、いったん作業をやめるように指示をする必要がある。

## デジタルアーカイブ専攻 (Evernote版)

### • ティーチングポートフォリオの内容

- ① 授業の進捗状況の記録
- ② 説明内容の記録
- ③ 個別指導が必要な学生のメモ
- ④ 学生の制作過程や完成データの記録



### • ティーチングポートフォリオの効果

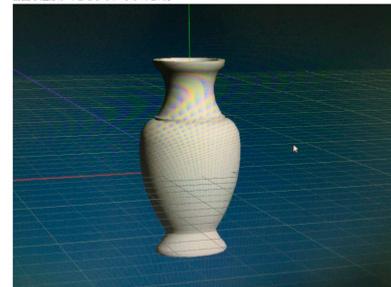
- ① 次年度の授業の参考に
- ② 授業内容の改善
- ③ 学生サポートの充実
- ④ 学生の意欲向上、評価に活用

5月2日 1限

3Dモデリングソフトウェア「メタセコイア」を用いて、3D造形技術を得得する。  
3D、モデリング、メタセコイア



マッピングの設定方法を学んだ。また撮取りなどの細かい設定方法を学んだ。  
\*\*\*さん、\*\*\*さんは遊んでいるので注意が必要。  
自由な造形ができるようになってきた。



回転をつかった造形方法を学んだ。  
また下絵として画像を置くことで、現物と同じ形に造形する方法を学んだ。  
壺の模様をカメラで撮影してマッピングで貼り付けることで、形だけでなく壺の柄もモデリング上で表現できることを伝えた。

## デジタルアーカイブ専攻での実践から

### • 実践した結果

- 実習をメインとする授業では難しい進行速度や口頭での説明内容の記録を行うことができた
- 学生の成果物の記録が可能、後輩の参考資料になる

### • 今後の課題

- 学生一人ひとりの経過を写真で記録
  - 評価の参考に
  - 学生のモチベーションアップにもつながる
- サイボウズ版であるティーチングポートフォリオメタデータの活用

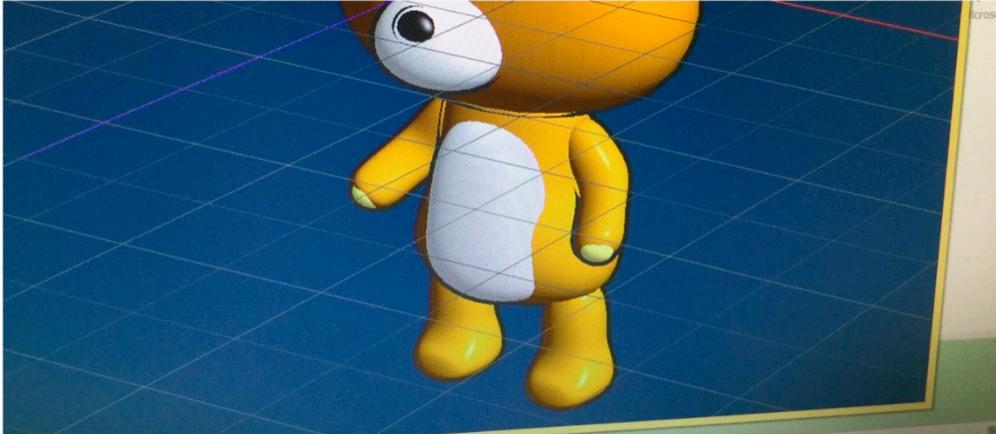
ティーチングポートフォリオメタデータ（サイボウズ版）

表題名（ふりがな）	文化情報メディアⅢ（ぶんかじょうほうめでいあⅢ）
資料名（ふりがな）	3Dデータの造形1（3Dでーたのぞうけい）NO.2-4
作成者	櫛 彩見
内容分類	情報工学
内容細目	画像情報処理
対象時代・年	2019/4/19
地域・場所	岐阜女子大学
索引語（キーワード）	3D,モデリング,メタセコイア
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. デジタルアーカイブにおける3D データ</li> <li>2. メタセコイアの利用・基礎</li> <li>3. メタセコイアの利用・応用</li> <li>4. メタセコイアによる3D データの造形</li> </ol>
特色	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. デジタルアーカイブにおける3D データの必要性を理解する 立体物のデジタルアーカイブには、3D スキャナを使って3D データとして記録する方法がある。 3D データがあればモデリングにより、いつでもコンピュータ上で資料の閲覧が可能となる。 また複製もできるため、クローン文化財への活用など、地方創生へとつなげることができる。</li> <li>2. メタセコイアを操作できる 3D データ化のためには3D スキャナでデータ化する必要がある。 しかし誤差が生じることが多く、その補正は人の手で行っていく。 そのためにはモデリングの操作方法や技術が必要である。 この授業ではメタセコイアの操作方法を習得する。 基本図形の造形、曲面制御、ミラーリング、材質設定、ナイフ、押出 他</li> <li>3. 目的にあわせた3D データの造形方法を習得する 球体の組み合わせによる造形 壺の造形 材質感を意識した造形</li> <li>4. 自由自在に3D データの造形が可能となる</li> </ol>
活用支援（利用注意）	<p>造形が遅れている場合は、空き時間に進めておく 分からないところは授業 HP や参考 HP を見て学修する</p> <p>授業 URL： <a href="http://naibu.gijodai.ac.jp/~ayami/joho3/">http://naibu.gijodai.ac.jp/~ayami/joho3/</a></p> <p>参考 URL： <a href="https://howto.clip-studio.com/library/categories/view/metasequoia">https://howto.clip-studio.com/library/categories/view/metasequoia</a></p>
振り返り	<p>画面を使って上手に、ゆっくり説明しないと伝わらない。 作成をされていて聞いていない学生もいるため、何回か説明したり、いったん作業をやるように指示をする必要がある。</p>

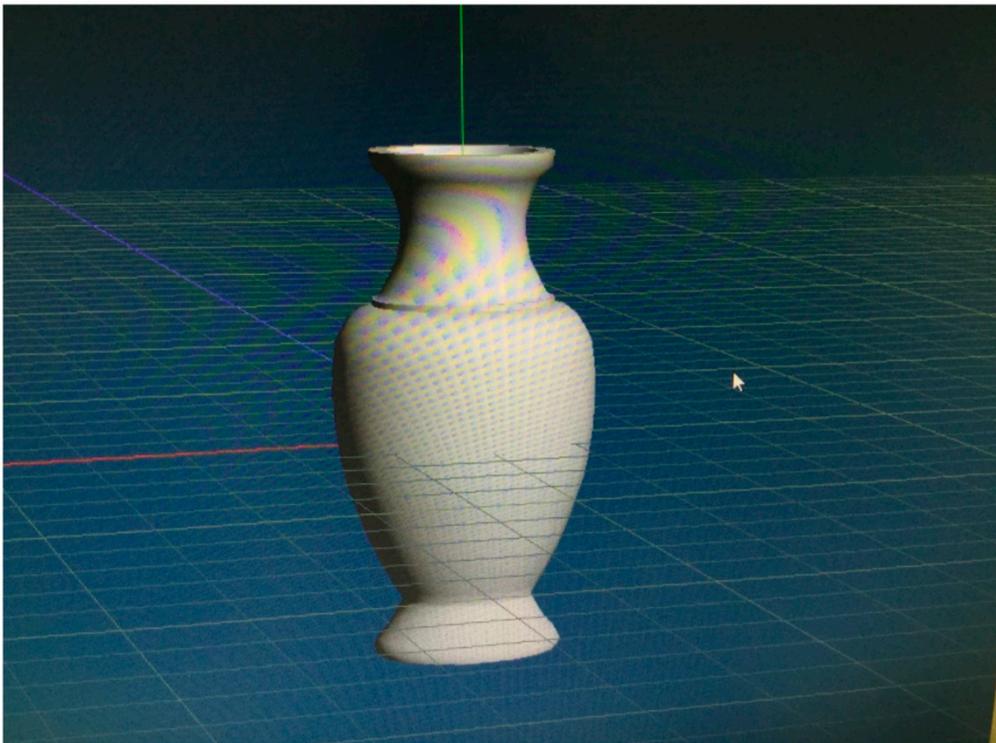
## ティーチングポートフォリオ (Evernote 版)

5月2日 1限

3Dモデリングソフトウェア「メタセコイア」を用いて、3D造形技術を習得する。  
3D、モデリング、メタセコイア



マッピングの設定方法を学習した。また縁取りなどの細かい設定方法を学んだ。  
\*\*さん、\*\*さんは遅れているので注意が必要。  
自由な造形ができるようになってきた。



回転をつかった造形方法を学んだ。  
また下絵として画像を置くことで、現物と同じ形に造形する方法を学んだ。  
壺の模様をカメラで撮影してマッピングで貼り付けることで、形だけでなく壺の柄もモデリング上で表現できることを伝えた。